

令和元年度

決算報告書

第 16 期

国立大学法人 徳島大学

令和元年度決算報告書

国立大学法人徳島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,781	13,025	244	(注1)
施設整備費補助金	1,116	931	△ 185	(注2)
補助金等収入	923	943	20	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	32	32	—	
自己収入	28,351	30,140	1,789	
授業料、入学料及び検定料収入	4,097	4,012	△ 85	(注3)
附属病院収入	23,656	25,528	1,872	(注4)
雑収入	598	600	2	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,198	3,884	687	(注5)
引当金取崩	—	208	208	
長期借入金収入	363	362	△ 1	
目的積立金取崩	—	11	11	
計	46,764	49,537	2,773	
支出				
業務費	39,167	40,718	1,551	
教育研究経費	16,640	16,286	△ 354	(注6)
診療経費	22,527	24,432	1,905	(注7)
施設整備費	1,511	1,326	△ 185	(注8)
補助金等	923	920	△ 2	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,198	3,238	40	(注9)
長期借入金償還金	1,965	1,912	△ 54	
計	46,764	48,113	1,350	
収入-支出	—	1,424	1,424	

※ 各項目について単位未満で四捨五入を行っているため、計及び差額が一致しない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度繰越額及び予算段階では予定していなかった特殊要因経費（年俸制導入促進費分）が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、総合研究棟改修事業（歯学系）が翌年度に繰越となったこと等により、予算額に比して決算額が少額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者の減や免除申請者の増等により、予算額に比して決算額が少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、手術件数の増や外来化学療法件数の増による診療単価の増により、予算額に比して決算額が多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、競争的資金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が多額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、学内プロジェクト事業による業務達成基準の適用及び効率的な事業実施を行ったこと等により、予算額に比して決算額が少額となっています。
- (注7) 診療経費については、（注4）に示した理由等により、予算額に比して決算額が多額となっています。
- (注8) 施設整備費については、（注2）に示した理由等により、予算額に比して決算額が少額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注5）に示した理由等により、予算額に比して決算額が多額となっています。